

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：産業廃棄物指導課
 担当名：総務・PCB指導担当
 内線：3148 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B29	県保有PCB廃棄物処理推進事業費			一般会計	総務費	環境費	廃棄物対策費	産業廃棄物監視指導費	
事業期間	平成28年度～平成34年度	根拠法令	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	宣言項目		分野施策	051144 資源の有効利用と廃棄物の適正処理の推進		
1 事業の概要 県保有PCB含有機器処理計画に基づき、県が保有するPCB含有機器を期限内に適正かつ確実に処理するために必要な事業を行う。 PCB含有安定器の分別・分解作業を行ったことによる処理費用の減少、契約差金及び経費節減による減額 (1) PCB廃棄物処理事業 △55,075千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア PCB廃棄物処理事業 527,234千円→472,159千円 (ア) 知事部局の施設(9か所)で保管されているコンデンサー34台をJESCO東京事業所で処分する。 (イ) 知事部局の施設(24か所)で保管されている安定器等・汚染物3,263個をJESCO北海道事業所で処分する。 (ウ) 知事部局の施設(8か所)で保管されている低濃度PCB廃棄物34台を処理する。 イ 処理推進・支援事業 1,970千円 処理が円滑に進むよう、関係課所及び処分先との調整、処分後に空となった保管容器の濃度分析を行い、PCB廃棄物の適正処理に係る支援を行う。 ウ 補助事務員に係る経費 3,529千円 県が保有するPCB廃棄物を処理するに当たり、保管状況についての事前調査及び搬出・処分業務委託に係る現地立会等を行い、PCB廃棄物の適正かつ確実な処理を図る。 (2) 事業計画 県保有PCB含有機器処理計画に基づき、県保有PCB含有機器を期限内に適正かつ確実に処理する。 ア 高濃度PCB廃棄物 (ア) コンデンサー 【処分】 平成28～32年度(5年間) (イ) 安定器等・汚染物 【処分】 平成29～33年度(5年間) イ 低濃度PCB廃棄物 【処分】 平成30～34年度(5年間) (3) 事業効果 県有施設(庁舎、県有施設)から有害廃棄物が適正かつ確実に処理され、施設利用者及び周辺環境の安全が確保される。 (4) 補正予算の概要 ア PCB含有安定器の分別・分解作業による処理量減及び契約差金の発生による減額 △55,000千円 イ 経費節減による減額 △ 75千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.1人=10,450千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△55,075	諸収入						△55,075	477,658
現計額	532,733	564						532,169	